

皆様こんにちは。

私は株式会社スプラウトの代表を務めております、細田浩世と申します。

本日はぜひお聞きいただいている皆様にとって、自分ごとに、そして視野を広げて何か今日から行動に移す。そんな時間にしていただけたらなと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

本日は3つの内容を考えました。

自己紹介、会社の紹介、そして、本テーマであります、アスリートとキャリア、その取り組みについて、そして最後にスポーツビジネスへの展望という、この3つの内容で話を進めて参りたいと思います。

はじめに、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は埼玉県寄居町で生まれ、現在熊谷市に住んでおります。

1967年に生まれました。

短大を卒業しまして、都市銀行、そして外資系の銀行へ転職し、その後独立をいたしました。

現在はプライベートファイナンシャルプランナー、そして金融教育インストラクター、そして国家資格キャリアコンサルタントとしまして、出会う方々お1人お1人に向けて、その方に合ったプランを立てていく、または教養を身につけていただく、そういったことを仕事にしております。

15年間ランニングを続けておりまして、日頃好きな時間というのは、ランニングのトレーニングももちろんなんですが、WEリーグ観戦をすることです。

ちょっとここにちなんだことはこの後また出て参りますので、後程聞いてください。

会社についてです。

株式会社スプライト、熊谷市にございます会社は籠原駅の近くでございます。

創業して15年になります。

振り返りますと金融に携わって30年が経とうとしております。

自分自身が、または会社として役に立てることが、マネーコンサルティング、いわゆるお金のかかりつけ医というふうに位置付けております。

または、お客様や企業の方々へ、教養講座を提供させていただいております。

また、高校や大学に向けて、金融教育ということも、少しずつお話をいただくようになって参りました。

スプラウトといいますのは英語で「芽吹く」という意味ですので、出会った方々が小さな芽吹きからだんだんと芽が広がっていく。

そして、そちらを光となって支えていく。

そんな存在でありたいと思い、社名に選びました。

こちらの風景は、今年の1月です。

高校で授業をさせていただきました。

家庭科の授業でしたが、資産形成、そして投資というテーマで、2時間続きの2コマを、受け持つことができました。

実際にいろんな問いを投げかけまして、答えを出していただいたり、または隣同士で話をしたりというような、自分で考える、そのような授業を展開しております。

本日この後ですねアスリートのキャリアを支える、なぜアスリートのキャリアを支えたいのかということを考えまして、ちょっとその前に、今日はここにメダルを持って参りました。

実は私が人生で初めてもらったメダル、5日前です。

富山県の富山市で行われました富山マラソンのフルマラソンに初めて出ました。

人生で初めて42.195キロ走ったわけなんですけど、そこで足がつかってしまったり、目標のタイムには届かなかつたりということがあったんですが、気が付いたことがたくさんありました。

それは今日皆さんが感じていることだったり、私自身が感じていたり、これからこうやっていきたいということにも繋がってくるように思いました。

その一つは、結果というのは、練習の成果であって、偶然ということはないということです。

そして、時間をかけた分だけ、または、定めた目標に対して逆算をしてトレーニングをしたりすることによって、ある程度自分でステップアップをしていくことができるのではないかなということです。

そして率直に自己流で今までランニングをしてきましたので、プライベートのコーチが欲しいなというふうに今感じているところです。

そんな、私自身は趣味とも言えず、真剣に走っているわけなんです、アスリートというテーマでこの1年間、アスリートキャリアマネーということで考えて参りましたが、アスリートの持つ3つのものを考えてみました。

1つは、持続力。ずっとその競技に携わって続けて、やめないで続けてきているということ。

そして、目標設定力。

実際にその目標を、おそらくとんでもない目標ではなく、かなえられるようなもの、その目標を設定する力があります。

もう1つは自己効力感。よく自己肯定感ということを言いますが、キャリアの理論の中では、自己効力感というのは、目標を達成するために、自らが持っている力を分かっているということです。分かってその目標に向かっていく、自分だったらできる、きっとそれはできるに違いないということ、自己効力感というふうにそういう言い方をします。

英語では self efficacy といいますが、そういう力をアスリートの人たちは持っていると考えます。

ですので、一般の方と比較をするというよりも、それだけの努力を長い時間している人たちを、何としても、応援をするといえますか、自分のこの仕事、プロフェッショナルとして役に立てることを全力でぶつけていきたい、そんなふうに思いまして、アスリートのキャリアというところに力を入れているところでございます。

また大切に思う人たちが起こりやすいこと。

1つは先ほどの事例でも紹介がございましたが、キャリアの長さというのは挙げられるのではないかなと思います。

キャリアの途中で途絶えてしまうということ。一般的な就職よりも期間が短いというのが多いのではないかということが一つ。

そして収入においてです。

収入・年俸の使い方、または配分の仕方が難しいというふうを考えることが多いのではないのでしょうか。

そして実際には競技をいつまで続けられるか、セカンドキャリア。

将来の漠然としたお金の不安を抱えてしまうということではないかなと考えました。

改めまして本日のキャリアということについてなんですが、3つほど紹介をしたいと思います。

1つは語源についてです。キャリアとはラテン語から来たもので、荷馬車や四輪の車の通り道、わだちのことを意味します。

ですので、職業、または地位などにとどまらずに、人生そのものですね。人の生まれてからこれまでの歩みそのものを指す。

そういったものをキャリアというふうに定義をしているということを今日は一つお伝えしたいと思います。

そうしましたらキャリアが途絶えるということについて、先手を打っておくことができるのではないかなという、一つの考え方です。

まず自分を知る。

そして教養を身につける。

さらに対策を立てる。

それがマネープランというところ。ステップアップをしていきながら、全体的にとらえていくことによって、一つ不安が減り、また一つ不安が減っていく。

そういったことが行っていくことができます。

自分を知るということはまさにキャリアコンサルティングの中で、自分を振り返り、これからどんなふう生活をしていきたいかということを考えていく。

そういったとらえ方です。

教養を身につけるということにおいては、変わりゆく世の中で、この教養を身につけることによって、キャリアアップをしていくことができたり、またはこの不確定、不確実と言われる世の中に、力強く立ち向かっていくことができるということです。

ここで質問をしてみたいと思います。

世界の人口は 2050 年に向かって、実際には、増加傾向にあります。

そして2つ目は、世界の資産家といいますと、どんな人が思い付きますでしょうか。

この2つの質問は、実は高校生の授業の中の冒頭でいたしました。

それなりにいろんな答えが出てきました。

実際に世界で一番の資産家というのは、フランス人のベルナールアルノーさんですね。

この人が世界一の資産家です。

なぜこの二つの質問をしたかといいますと、この質問の先にあることです。人口が増えていくことによって、投資の考えでしたり、私たちが金融や経済を見るときに、そういった目線が大事になってくるからです。

またはあなたにとっての投資とは、単純にお金を増やすということではなくて、自分にとって投資ってどんなことだろうそんなことを考えてみる、自分ごとに考えていただきました。

「知識が人生を分かつ」というところで、ここでは一つですね。

月々3万円、30年間積み立てをしたとします。

仮に、0%というのは預金のイメージですね。

または5%は投資をした場合。

結果、1080万円と2497万円。

ということは置き場所が違うだけで、1417万円の差が生まれるということですよ。

よって、教養を身につけることでその教養が資産を育てる。

ただ、なぜこの差が生まれたかというのが実際の学びだと思います。

なぜその差が出るかということをも自分なりにまず考えて、問いを持って自分なりの答えを出していくということです。

それには、人生の目的を考えたり、または明確な目的を持っていく。

最終的にはファイナンシャルゴールという言い方をしますが、ファイナンシャルゴールを決めて、そこに向かって資産を作っていく。

同時に教養を身につけていく。

できれば自分1人ではなくて、コーチとそういったことができると思いいます。

こちらは実際に熊谷スポーツホテルパークウイングというところで、毎月開催をしている勉強会の様子です。

例えばアスリートのためのキャリアのこともテーマの一つに掲げて参りましたし、または来年に向けてのNISAのこと、そういった詳しい勉強なども毎月行っているところです。

こちらは新聞の記事なのですが、こういった日経新聞の記事なども実際に読んで、どういうふう感じたか、考えたかということも、勉強会の中で一緒に考えている。

そんな一つの記事ご覧いただきました。

こちらはFMクマガヤという地元のコミュニティーラジオの中で、番組を月に1回持たせていただいております。

この二つは、左側は浦和レッズレディースの安藤梢選手、右側はちふれASエルフェン埼玉の大使の方ですね、薊理絵さんですが、実際にキャリアのことをお聞きしたり、どんなふう乗り越えてきたか、そして人生をどんなふうにとらえているかということをお聞きしながら、自分自身の時事的なニュースでしたり、もののとらえ方を番組の中で皆さんに発信をしている。

そんな番組を持たせていただいております。

実際には学び×キャリア×マネーコンサルティングというところから、一つはキャリアチェンジ、想定外を想定内にしていくこと、そしてキャリアの幅を広げていくことができます。

最終的には資産を作って、自分の作った資産をさらに育てていく。

そのようなイメージを持っていただいたらよろしいと思います。

最後になりますが、スポーツビジネスの展望というところで、2024年に向けて、1つはチームや大学への金融経済の学びを定期的に届けていくということ。

また2つ目は、現役アスリートの人たち、そして今だけではなくてセカンド・サードキャリアを、プランニングをしながらそのロールモデルを作っていけるといいのかなと思っております。

そして、パーソナル・マネーコンサルティング。

これは一人一人に合ったものという意味です。

同じ競技をしていてもその人によってトレーニングの方法は異なってくると思います。

ですので一人一人に合わせたプランを、お話をじっくり聞きながら、キャリアのことをよく考えながら、人生の地図を引いていく、そういったマネーコンサルティングをしっかりと行って参りたいと思います。

キャリアを育てるマネーコンサルティングとは、100年時代を、そこに通用するアスリートの人生の土台をつくっていくということ。

そして、先々を見通して、プレーに集中して欲しい。

よって安心して生きていける、そこにアスリートのコーチ役というような存在になれるというふうに考えております。

2030年の未来設計図を作ろう！

こんなテーマでお話をこれからも進めていきたいと思えます。

まず一歩、何か踏み出していただきたいと思えます。

本日はご清聴いただきましてありがとうございました。

以上で私のコメントさせていただきます。